

最近の天文のニュースや話題から (2017年2月)



静岡県浜松市の砂丘で行われたフィールド試験のようす

がんばれ！日本チーム・HAKUTO
 民間組織で月面無人探査を競う国際レースです。アメリカの財団が主催し、今年末までに、一番早く以下の三つの条件をクリアすると優勝です。一位の賞金は、なんと約二〇億円！

- ①：月面に民間開発のロボットで着陸
- ②：着陸したローバーを500メートル以上移動させる。
- ③：カメラで月面を撮影し、高解像度の動画や静止画を地球に送信。

参加チームは世界中で十六。日本チームはそれぞれ別の仕事を持つ社会人約百人です。今年の始めにローバーを完成させ、月への一番乗りをめざすということです。応援しましょう。

☆ 今月のおもな天文現象

◎ 2月14日：月がふたご座のγ星 (2.7等) を隠す



月齢 17.1 の月がふたご座のγ星ポリマを隠します。現象がおきるのは 23 時 35 分ころです。月の明るい方から隠されます(潜入といいますが、遅い時間帯ですので、その前のポリマが月と一緒に東の空に見えているところを観察するのが良いでしょう。

上の図は2月14日21:25の東の空です。

◎ 2月17日：金星(宵の明星)の明るさが最大に！

最大光輝といいますが、-4.6等星で、場所さえわかれば昼でも肉眼で青空の中に光っているのがわかる明るさです。なお、このころの金星は、望遠鏡で見ると三日月の形に欠けて見えます。右の写真は昨年の最大光輝の前の金星です。



◎ 2月下旬：エンケ彗星が小望遠鏡で見ごろに！

明るさの予報は8等～7等星で、あまり明るくないですが、うお座の金星の近くです。3月にかけて双眼鏡か望遠鏡があれば楽しめる明るさです。

◎ 2月25日：くじら座の変光星ミラの明るさが最大に！

明るさが周期的に変わる星(変光星)として有名なくじら座のミラの明るさが最大になる予報です。良い機会ですので、宵のころの西空にあるくじら座の星座の形と3等星くらいで赤く輝くミラを確認しておきましょう。

(1枚目の「西の星空」を参照のこと)